



野田小学校 学校だより

# 南風の丘から

学校づくりのモットー  
明るく楽しく美しく

校長 犬嶋博之

## コロナ禍の中の学校運営

約一カ月前に、「このまま県内の感染がない日が続けば、机上のパーテーションも取っていいかな？」と検討していた頃から一転、連日、感染拡大の現実をニュースは伝えていきます。変異したウイルスは、年齢に関係なく感染することです。今後、また新たなウイルスが発生するかもしれないので、子どもたちの命を最優先に対策を講じていきます。また、並行して教育の充実を図るためには、知恵を出し合い、新しい方法を編み出し行う実行力が問われていると考えています。で、御理解と御協力をお願いします。

### 〈今後の取組〉

#### ・感染対策の強化

検温や消毒をこれまで以上にこまめにできるように機器の導入を検討しています。

#### ・授業や行事等の対応

修学旅行を県内コース、運動会を半日日程にするほか、空き教室の活用やICT(パソコン等)の活用を一層進めます。

## 異年齢での 関わり合い

掲載している写真は、本年度四月中に行った行事や児童会活動の中で、上級生が下級生をリードしている場面です。実にたくさんありました。

このような異年齢での取組は、北欧の国々では意図的に仕組まれていてコミュニケーション力やリーダーシップ、説明力、言葉の使い方、集団のまとめ方、目標へ集団を導く力などを高めます。

学習においても、聞くとか教えてもらうよりも教えるとか話して聞かせる方が学力が上がると言われていますので、異年齢での取組をもっと広めていきたいと思えます。



全校遊び



運動会の練習



歓迎行事



愛校活動



校内探検



登校班確認



入学式

### 《 主な行事予定 》

#### <5月>

- 19日(水) …運動会予行演習
- 23日(日) …運動会(弁当不要) 翌日、代休
- 27日(木) …全国・県 学力調査 (6年生)(5年生)

#### <6月>

- 3日(木) …5年生宿泊学習 ~4日
- 10日(木) …4・5年生社会科見学
- 18日(金) …長崎っ子の心を見つめる教育週間 ~24日(木)
- 22日(火) …道徳授業参観、学級部会
- 24日(木) …おやじの読み語り

#### 〈訂正とお詫び〉

前回、宿泊学習(6月3日)を、4・5年生で行うとしていましたが、5年生のみの実施でした。すみません。

〈コラム あかね雲〉

## 習慣をつくる

往年の野球ファンなら「松井秀喜」の名前に心躍る方も多いかと思えます。ヤンキースタジアムでのデビュー戦初打席の満塁ホームラン、ワールドシリーズ日本人初のMVP獲得など、輝かしい記録と記憶を残した彼の言葉に、次があります。

### 「素振りを信じた。」

イチローの言葉を借りるならば、「このくそおもしろくない練習の先にしか成功はない」と言われる地味で孤独な毎日の積み重ね。松井秀喜の活躍は、日々の積み重ねが創りました。

さて、私にとつての「素振り」は何かー。子どもたちと共に、自分を磨く道を歩んでいきたいと思えます。

(文中、敬称略)

《心に響いた言葉》 「応援歌(替え歌)をつくってきました。まずは、僕らが歌うので聞いてください。」  
運動会の赤白別の練習初日の6年生団長の言葉から。ここに来るまでの準備、そして「まずは自分から」。見事でした!



## 新シリーズ、始まります。

昨年度「目指す児童像」をテーマにしたこのシリーズ、本年度のテーマはズバリ、これです。

## 「令和の日本型教育」とは何ぞや？

「令和の日本型教育」は、「今後の日本の教育はどうあったらいい？」という文科大臣の質問を受けて教育の専門家などが集まり、何回も何回も集まって話し合ってきたとめられたものです。

(専門用語でいうと「中央教育審議会答申」といいます。)

今後、ここに書いてあることをもとに、様々な施策が取り組まれたり、次の学習指導要領が編成されたりします。長崎県校長会や南島原市校長会でも活動方針にこの文言を組み入れて、長崎県の教育、南島原市の教育を創っていくことになりました。

ただし…、「れ・い・わ・の…」というネーミング自体からしてカチコチの堅苦しさがありませんので、このシリーズでは、「具体的に何がどうなるの?」「野田小では何をするの?」という視点でシリーズを進めていきます。

どうぞ、よろしく  
お願いします。

令和の日本型教育  
とは何ぞや?



### 〈表面化した課題〉

コロナ禍でデジタル分野(教育関連を含む)での世界との格差や国内での地域格差が広がっていることが表面化しました。他にも、感染者に対する誹謗・中傷が生じたこと、未知のものに弱いこと、対応に臨機応変さやスピード感が足りないことなどがあります。このような状況を改善し、どのような変化があっても生き生きと生きる子どもたちを育てる教育、その姿を示したのが「令和の日本型教育」です。

実現したい学びの姿は、次の二つです。

- ・ 個別最適な学び
- ・ 協働的な学び

この文言もイメージしにくいですが…(詳しくは次回)

先の答申は幼児教育から高校、特別支援学校の教育に加え、教育行政に関するものも含まれた範囲の広いものですので、このシリーズでは義務教育(特に小学校)に関連することを取り上げます。そして、野田小学校の課題や求められていること等に照らし、実際にどのようなことに取り組みむかということについて次の順に綴っていききたいと思います。

### 〈今後の予告〉

- 一 「学力の定着、資質・能力の育成について」
- 二 「補充的・発展的な学習指導について」
- 三 「カリキュラム・マネジメントについて」
- 四 「小学校での教科担任制について」
- 五 「学習機会の保障について」
- 六 「健康な生活づくりについて」
- 七 「いじめや虐待等への対応について」
- 八 「ICTを活用した学びについて」

ふるさとの文化・歴史・人物——野田小教育の視点から

## 「原城(跡)」

原城は戦国時代の有馬氏の重要な城であり、一六三七年の島原・天草一揆の舞台となった城である。城は海岸に突き出た丘に築かれ、本丸、二ノ丸、三ノ丸、天草丸、鳩山出丸等から構成されている。周囲は約4km、東は有明海、西と北は一部を除いて低湿地に囲まれた天然の要害であった。(南島原市HPから)

原城(跡)は、確固とした精神を持った人々が島原半島南部一帯にいたという証だけでなく、それらの人々を支えた豊かな自然と仕事があったことも示しています。また、原城(跡)がある小高い丘が、阿蘇山噴火の火砕流によるものだと言われていることから、ジオパークに関連する価値もあります。

原城は、そこから見る夕日が素晴らしく、時が経つのを忘れてしまうことから「日暮城」とも呼ばれていたとか…。日が落ちる頃にどうぞ御一見を。



### 【お知らせ】

先日、気象に関する情報の出し方について、「避難勧告」をなくし「避難指示」に一本化するなどの変更が報道されました(五月二日長崎新聞等)。五月二十日開始へ向けて本校でも「非常変災時における登校等の対応について」の改訂版を出す予定ですので、対応方お願いします。